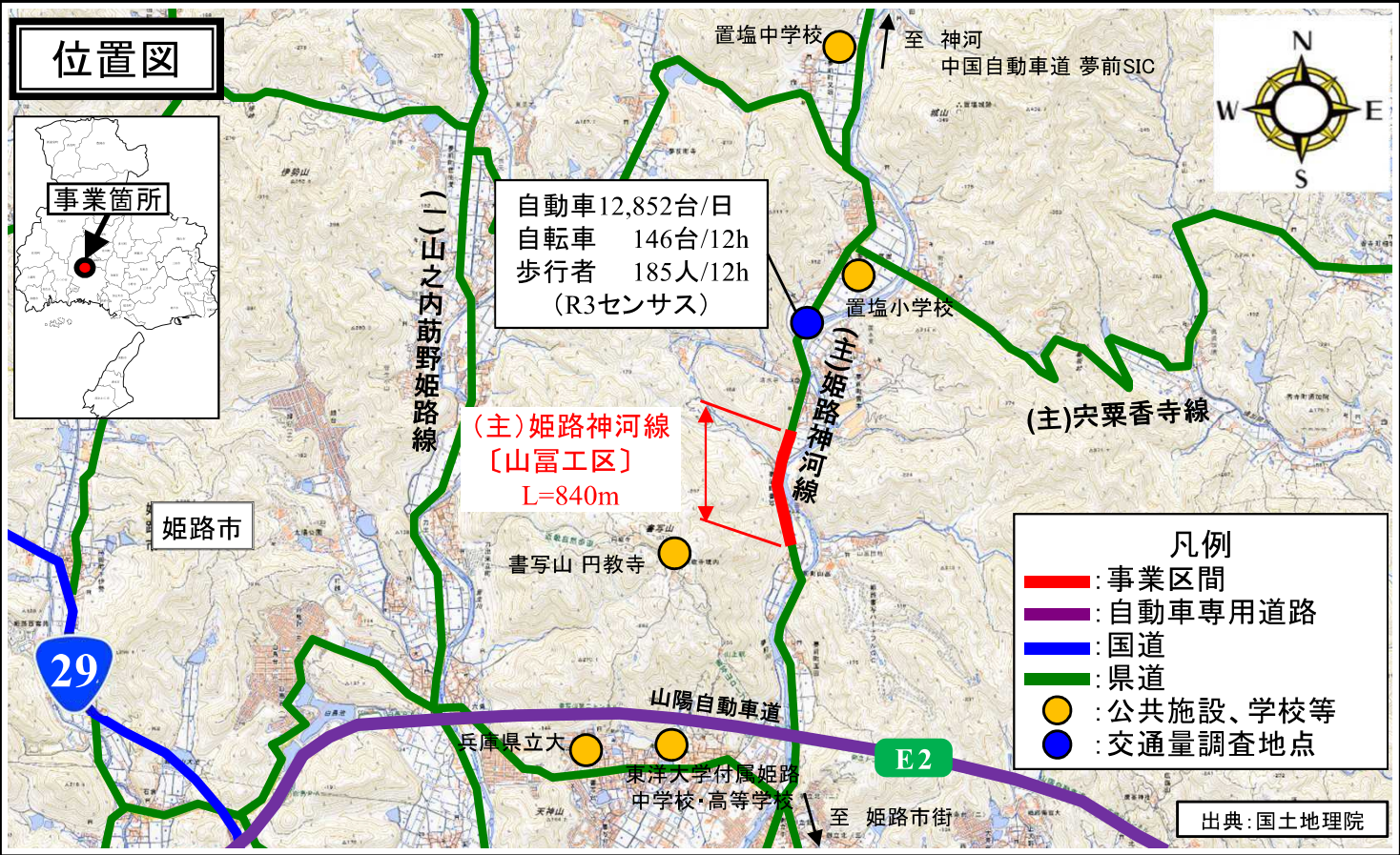
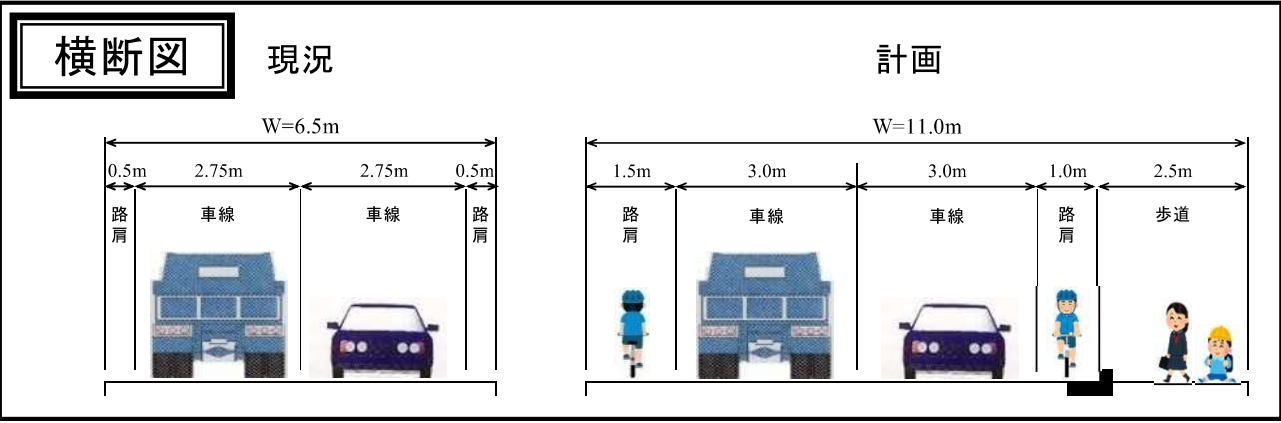


# 交通安全施設事業 主要地方道 姫路神河線（継続：再評価〔第1回〕）



### 事業概要

新規評価年度	H26 (2014)	
事業採択年度	H27 (2015)	
着工年度	H27 (2015)	
再評価年度	R6 (2024)	
	今回評価時点	前回評価時点
総事業費	7.2億円	5.0億円
内用地補償費	2.1億円	1.9億円
完成予定年度	R10年度	H30年度
進捗率 〔内用地補償〕	65% 〔100%〕	—
残事業費	2.5億円	—
B/C	—	—
事業内容 ( ) 新規評価時点	【事業区間】 姫路市夢前町山富 【延長】 L=840m 【構造規格】 3種3級 【計画幅員】 W=6.0(11.0)m(W=6.0(10.75)m) 2車線+片側歩道(2車線+片側自歩道) 【現況交通量(R3センサス)】 自動車: 12,852台/日 (12,936台/日) 自転車: 146台/12h (195台/12h) 歩行者: 185人/12h (242人/12h)	

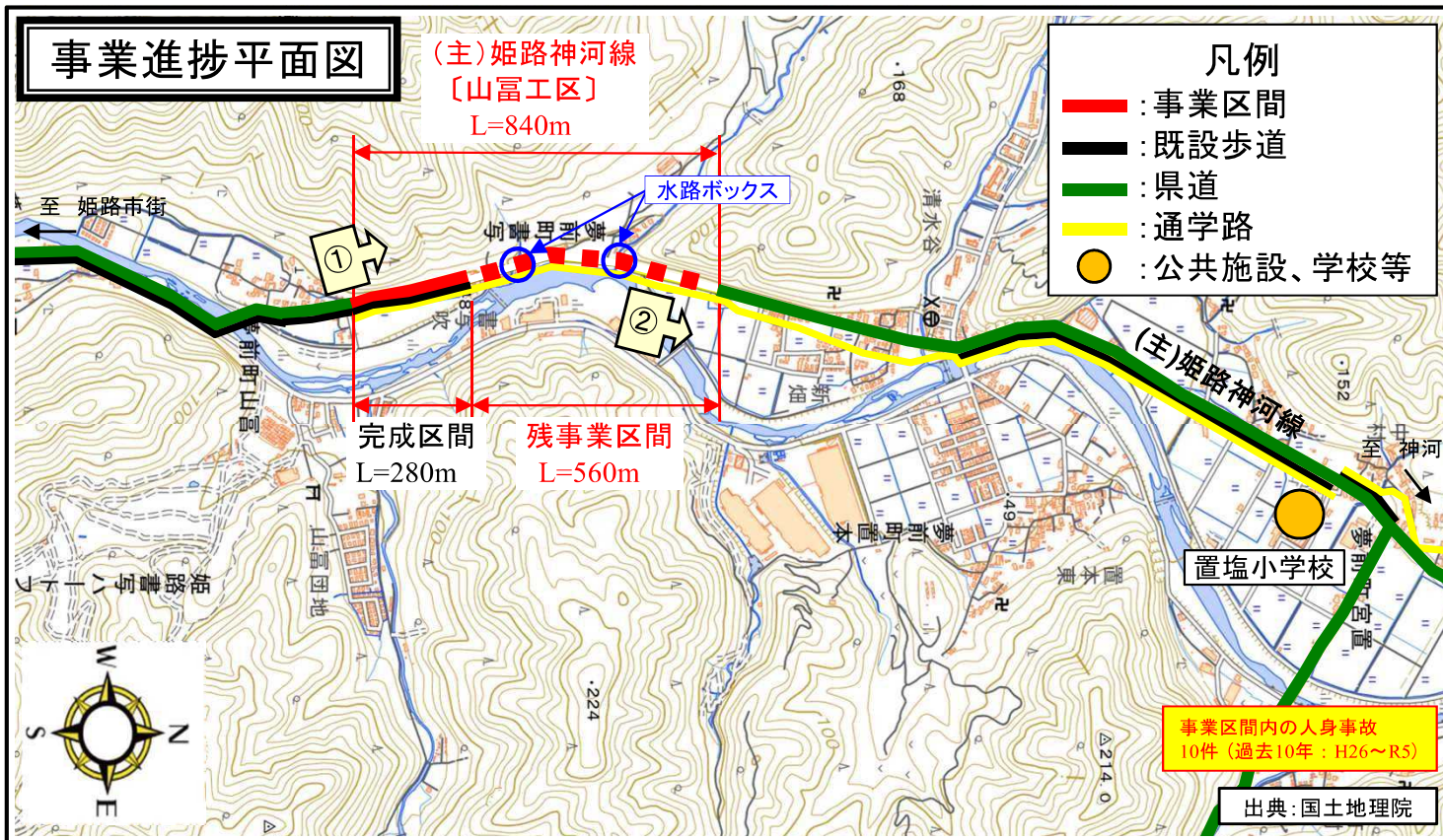


### 事業の目的、必要性・優先性

目的	①安全な自転車・歩行者通行の確保
必要性 優先性	①歩道がなく路肩も狭いため、歩道の整備や幅広路肩の整備により、小学生を含む歩行者や、自転車利用者の安全な通行を確保する。 ②通学路交通安全プログラムに位置付けられている。 ③H27に中国自動車道の夢前SICが供用され、姫路市内や書写山へのアクセス路として利用されている。



# 事業進捗平面図



# 現況写真

①完成区間(歩行者の安全を確保)



②残事業区間(歩道がなく危険)



# 進捗状況

	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 (H27~R10)	【事業費＝7.2億円】 歩道整備：840m 用地取得：4,000m <sup>2</sup>	置塩小学校の通学児童等をはじめとした、歩行者の安全を確保できる。
採択～現在まで (H27~R6)	【事業費＝4.7億円】 歩道整備：280m ①事業進捗率：65% ②用地進捗率：100%	工事完了区間を部分供用することで、歩行者等の安全を確保した。
今後4年間 (R7~R10)	【事業費＝2.5億円】 歩道整備：560m	歩行者等の安全な通行空間を確保できる。

# 工程表

■ : 前回計画  
■ : 実施・計画

工種	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
調査・設計	■													
用地補償		■	■	■	■	■	■	■	■					
道路改良			■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■

# 再評価の経緯・結果

再評価に至る経緯等	用地交渉に時間を要し5年遅延した。引き続き、片側交互通行による横断水路ボックスの施工などの残工事を進める必要があり、完了年度をR10に変更する。
再評価の結果	事業の必要性は事業採択時から変わらず、かつ事業に対する地元の要望は強い。また通学路交通安全プログラムに位置付けられており、継続して事業を実施する必要がある。